



「指導者として」

耳取区 山浦 義晴さん



昭和44年から耳取公民館で活動している『美里少年剣道クラブ』。青少年の健全育成を目的として始まり50年余。現在小学生から高校生まで18人（内女子3人）のメンバーですが、高校生は部活が中心になります。

現在指導されているのが山浦義晴さん。剣道教士7段、大学時代に始めた居合道は4段の腕前です。山浦さんが剣道を始めたのも美里少年剣道

クラブで、小学5年生の時。そして指導を始めたのは26歳からです。

公民館活動として長く続いているのは、地域の理解と協力があってのこと。例えば昭和56年、公民館を建替えた時2階大会議室の床を金属のくぎを使わず、剣道場として使えるようにしたそうです。普段は区や公民館の行事で使用されますが、練習日にスリッパを脱ぎ大会議室に入るとそこは厳肅な道場となり空気が変わります。

練習の様子は：

挨拶をして準備体操、面打ち小手打ちと練習が進みます。地元の大大会から全国大会まで様々な大会に参加しており、昨年の佐久地区の大大会でも優勝するなど強豪チームとして知られています。今は7月に日本武道館で開催される全国



指導にも熱が入ります

大会を前に練習は厳しさを増している時です。これでもかと思うくらい声を張りあげると子どもたちですが、武道館に響き渡るにはまだまだ足りないと言われます。

剣道では大きな声は基本。一本取るためには大切な条件とのこと。練習が進み山浦さんと直接対戦し、追いつめられる場面があり、その様子を見ていると息が詰る程緊張しました。「厳しく叱咤する、そして褒めることで、子どもたちの限界を上げていくことも指導者の役割の一つ」と山浦さん。そして山浦さんが言われたのが『師弟同行』。師匠と弟子が同じ行いをし、論ずることが大切だそうです。技術面では小学校6年生までに1級、中学3年生までに1段を取得することが目標です。さらに活動を通して、先輩が後輩の面倒をみて、わからないことは先輩に教えてもらうことでコミュニケーションがとれ仲間意識も高まるそうです。

子どもたちのこれから

将来、子どもたちが地域に貢献できる人に育ってほしいことも大きな目標です。まさに山浦さんが実践されています。2時間を越える厳しい練



常に真剣勝負！

習が終わると、子どもたちはふざけ合い笑い声も聞えます。その様子に私の緊張もとけました。練習中の集中、わずか2時間でもその緊張が剣道以外でも役立つそうです。何回か練習を拝見し、お話を伺い技を磨くだけでなく、子どもたちの心や人格を育てているのだと感じました。将来、子どもたちが指導者としてこの場に立っていることを想像すると、とても楽しみです。

クラブでは、メンバーを随時募集しているので気軽に見学してくださいとのこと。編集委員 遠山 厚子

【練習日】

毎週 水曜日 午後6時～8時
日曜日 午後5時～7時

小諸市文化会館 7月スケジュール

日	時	開演	イベント名	主催者	問い合わせ先
22日(日)	15:00		モナコ少年合唱団コンサート	コミュニティテレビこもろ	0267-22-9911
28・29日(土・日)	10:00		第11回発表演奏会	ヒオキ楽器	0267-68-7704

受付開始日

【公民館・こもろ女性の家】 (貸出備品含む)	2018年9月利用予約	7月2日(月)
【乙女湖体育館】	2019年1月利用予約	7月2日(月)
【文化会館】	2019年7月利用予約	7月3日(火)

小諸市文化会館よりお知らせ

改修工事に伴う休館について

8/1～8/31 (2019年～2025年)

来年から2025年の、毎年8月の1ヶ月間、小諸市文化会館ホールの舞台機構改修工事を予定しています。それに伴い、該当期間中はホールがご利用になれません。(本年8月は利用可)

安全にご利用いただくための改修工事となります。ご理解、ご協力をお願いいたします。